

## 【事業趣旨】

本事業は女子高校生を対象とし、ラグビーの精神を活かして社会やラグビーの現場で活躍する人々からラグビーの価値を学び、世界を広げることで自身の可能性を見つめ、キャリアや夢を探求することによってよりよい未来の実現に寄与する人材を育成することを目的に実施します。

【プロジェクトの流れ】 ※内容は変更する可能性があります。このほかに任意参加のオプション講義があります。

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
テーマ	新しい仲間とつながる	視野を広げる	新しい世界を学ぶ	世界とつながる	世界を広げる	よりよい未来へ
内容	・ラグビー概論 ・インタビュー研修 ・色々なラグビーの取り組み	・ラグビーとD&I	・キャリア講義 ・スポーツと社会の関わり	・ラグビーを通じた国際交流	・海外ラグビー関係者へのインタビュー	・スピーチ発表 ・修了式

募集期間：2022年5月26日（木）～6月20日（月）締切厳守

実施期間：8月から12月の月1回程度/計6回（修了式・スピーチ発表イベントを含む）

実施日程：①8/6（土）-8（月）集合研修@熊谷

②8/20、③9/17、④10/15、⑤11/19 いずれも土曜日、18:00-20:00 オンライン

⑥12/18（日）集合研修@都内

実施方法：集合研修・Zoomでのオンライン講習（変更の可能性あり）

定員：20名程（応募多数の場合選考）

※詳しい情報や応募方法は下記URLよりご確認ください。QRコードからもご覧いただけます。

<https://www.rugby-japan.jp/RugbyFamilyGuide/news-topics/14986/>



## 2021年度修了生の声

ラグビーの持つ力を改めて感じることができました。自分自身も、この半年を通じ、物事に対して以前よりも積極的に挑戦できるようになりました。

ラグビーを通して人との繋がりを改めて感じることができました。最初は恥ずかしくてできなかった人前での発表が、最後にはできるようになり、自分の成長を感じます。

知識が増えただけでなく、同世代の仲間に刺激を受けました。お互いの夢を語り合ったり、目標を確認したり、みんなの将来の姿がとても楽しみです。

このプロジェクトに勇気を出して応募し、色々な経験や出会いができてとても良かったです。理想の自分になるために、これからも様々なことに挑戦していきたいです。

このプロジェクトの経験を活かし、たくさんの人と意見を交わして、受け入れ、誰もがスポーツをできる環境を作っていきたいです。

漠然と考えていた女子ラグビーを普及したいという思いが、ラグビー普及のためにできることは何かを考え、できることを実践していこうという思いになりました。

## 応募を考えている方へ担当者からのメッセージ

このプロジェクトのスタートラインは「ラグビーが好き」という情熱です。ラグビーを通して過去から学び、世界とつながり、未来を創造したい人をお待ちしています。



兼松 由香 JRFU普及育成委員会教育部門員

5歳のときに一宮ラグビースクールでラグビーを始める。中学・高校時代はソフトボールに専念し、大学進学を機に名古屋レディーズ R.F.C でラグビーを再開。2002年に15人制ワールドカップに出場し、その後、結婚・出産を経て競技復帰。2016年リオ五輪に出場。現在は、JRFU女子セブンスユースアカデミーおよび太陽生命WSSチャレンジチームのヘッドコーチ、女子委員会・普及育成委員会の教育部門員およびコーチング部門員を担当。

ラグビーを通じて新たな視点を学び、未来を主体的に創出する人を待っています。ラグビーから広がる世界への、最初の一歩を踏み出してみませんか。



中村 愛 JRFU普及育成委員会教育部門長

13歳のとき初めて見たラグビーの試合に心を奪われる。白百合学園高等学校卒業後、早稲田大学ラグビー蹴球部でマネージャーを務め、大学卒業後はフランスに留学。帰国後はフランス語を生かし9年間国際協力分隊のラグビーチーム派遣に携わったことを機に2014年よりJRFU勤務。国際協力事業等の担当を経て、現在は普及育成委員会教育部門長・みんなでラグビー部門長を務める。

※昨年度の実施レポートはJRFU HPよりご覧いただけます。  
<https://www.rugby-japan.jp/news/2022/04/11/51055>